平成20年度 延岡青朋高等学校 学校関係者評価（定時制課程）

『評価』は4段階の数値で行う。（4：十分達成された 3：おおむね達成された 2：やや不足な点が多い 1：ほとんど達成されていない）

重点目標	具体的な方策（P）	結果と課題（D）	自己評価(C)		改善策（A）	学校関係者評価		コメント
			項目別	総合		評価		
						項目別	総合	
学ぶ意欲の向上を図る。	キャリア教育の実施と改善	総合学習の時間にDグループとCグループでキャリア講座を実施。	3	3	キャリア教育の組織的な取り組みが必要。 授業での呼びかけ、検定の意義を呼びかける。 地区住民への校外貸出も検討したい。 生徒との意見交換を検討することも可能。	3	3	
	資格・検定取得の推進	全商5種目1級合格者が2名でた。漢字検定を導入した。	3			3		
	読書の推進	1月末で4.1冊/一人あたりで目標達成。幅広い生徒の貸出が見られる。	4			4		
	目標：年3冊/生徒一人 授業研究の実施	職員の授業参観への参加数が増加し、建設的意見が寄せられた。	3			3		
新規就職者数を増やし、出口保障に努力すること。	進学課外や校内就職・進学説明会の実施	計画通り実施でき、生徒にも好評であった。	3	3	基本的な生活習慣確立のために一致した指導や、日常授業を充実させることで基礎学力の充実と個々の総合的なレベルアップを目指す。	3	3	生活習慣調査についてアンケート内容を検討してください。
	就職相談会や校内就職・進学説明会・ガイダンス等への出席推進	オープンキャンパスへ5名の参加者があり、例年以上に多かった。	3			3		
	アルバイトや就職先紹介活動の充実	社会状況の変化から就労できる職が減少し、厳しくなっている。	3			3		
	卒業年次生集会や面談(三者・二者)指導の充実	早め早めに対応し実施できた。	3			3		
	面接・作文指導の充実	職員の協力のもと、円滑に実施できた。	3			3		
規範意識を身につけさせ、基本範的生活習慣を確立させる。	生活習慣調査・面談等を通し家庭との連携推進	調査を実施したが、学級担任との連携と活用が機能しなかった。	2	3	過年度比較を行い、調査の活用を促す。 掲示板に生徒会広報を掲示する。生徒会交流の充実。 外部講師による講演会以外は椅子なしで行う。 携帯電話教室、薬物乱用教室、交通安全教室は継続。 一般生徒への参加を呼びかける。 立ち番指導と自転車・バイク通生には実技講習の実施。	2	3	警察や交通指導員との連携を図ってはいかがか。
	生徒会活動の充実	高文祭に新設された定通分科会へ参加。通信制との交流を実施した。	4			4		
	生徒集会の充実	集会マナーは良好で、後期からは椅子を使用せず集会が可能となった。	4			4		
	招聘講師による講話の充実	携帯電話教室、交通安全教室を開催したが、開催時期が課題である。	4			4		
	ボランティア活動推進と学校設定科目の検討	生徒会役員がのべおか福祉まつりへの参加。一般生徒の参加が課題。	3			4		
	登下校指導や巡回指導の実施	登校車両別集会を4月と10月に実施したが、事故が起こった。	2			2		

平成20年度 延岡青朋高等学校 学校関係者評価（通信制課程）

『評価』は4段階の数値で行う。（4：十分達成された 3：達成された 2：やや不足な点が多い 1：ほとんど達成されていない）

重点目標	具体的な方策（P）	結果と課題（D）	自己評価(C)		改善策（A）	学校関係者評価		コメント
			項目別	総合		評価		
						項目別	総合	
学ぶ意欲の向上を図る。	キャリア教育の実施と改善	前期はスタートが遅れたが、後期は円滑に実施できた。レポートについても改善できた。	3	2	多様な教材を活用できる環境を整えるとともに、講演会等を実施する。	3	2	予算と技術面で具体的に検討をしてください。
	資格・検定取得の推進	外部講習会等案内したが、参加は少なかった。教材等の購入に努める。	2		各種検定の参考書・問題集を購入し充実させる。	2		
	授業研究の実施	添削指導に関する研修を充実させることが重要である。	2		添削や面接に関する事例研究会を検討したい。	2		
	e-ラーニングの導入検討	検討の結果、導入は困難なので、既存の仕組みを活用する形へ転換。	1		webで放送配信されているNHK高校講座を活用したい。	2		
新規就職者数を増やし、出口保障に努力すること。	支援学習会や就職・進学説明会の実施。	就職・進学説明会を講師を招き実施。支援学習会の参加者の増加を図る。	3	3	生徒の活動状況報告をもとに早期に進路志望の動向を把握する。	3	3	生活習慣調査についてアンケート内容を検討してください。
	就職先紹介活動の充実	各スクーリング校に求人票ファイルを設置。就職説明・面談会へ6名参加、2名の内定者が出た。	3		求人票閲覧、就職説明・面接会への参加を呼びかける。	3		
	卒業年次生集会や面談（三者・二者）指導の充実	3学年との連携で8割の面接を終了した。1・2年は進路希望の把握。	3		三者面談を更に推進するとともに家庭訪問の実施を検討する。	3		
	面接・作文指導の充実	進路部内で役割を分担して履歴書、論文、面接指導を行った。	3		担任・教科担任との分担・連携を図る。	3		
規範意識を身につけさせ、基本範的生活習慣を確立させる。	生活習慣調査・面談等を通し家庭との連携推進	調査を実施し、家庭との連携も進めることができた。授業中や職員室職員室入退室時にマナー指導を行った。	4	3	希望があった場合、家庭訪問を実施したい。食事バランスガイドを提示する。	2	3	
	生徒会活動の充実	高総文祭の交流部門へ参加し、定時制文化祭への参加が実現した。	4		定通の交流を図る。生徒会新聞を教室に掲示する。	4		
	招聘講師による講話の充実	生徒理解、生徒の安全、防災訓練で外部講師による講話を実施した。	4		継続して実施する。	4		
	ボランティア活動推進と学校設定科目の検討	体育祭の時に募金活動を実施した。	3		地域へ奉仕できる活動を企画・実践する。	3		
	巡回指導の実施	スクーリング時に巡回を強化し、組織的・計画的に実施した。	4		継続して実施する。	4		